

教育目標

『思いやる』
「感動と活力のある学校」

『よく考える』
「学ぶ期待のある学校」

『力強く生きる』
「一人ひとりが輝く学校」



烏山中だより

烏山学舎 世田谷区立烏山中学校 校長 大友 文敬
世田谷区南烏山 4-26-1 TEL 03-3300-6361
FAX 03-3300-6363

令和6年5月28日
No.2



笑いあり、涙あり、絆あり



先週の5月25日（土）に、最高の天候の中で体育大会を無事実施することができました。

多くのご来賓・保護者の方にご来校いただきました。温かい声援、ありがとうございました。

今年度の体育大会のスローガンは、「ONE TEAM 共勝（きょうしょう）～認め合い、高め合い、輝け！！～」です。体育大会実行委員を中心に烏中の先輩たちが築き上げてきた伝統を引継ぎ、今年度は新たに縦割りとしての得点も競い合いました。

当日は、一人一人が真剣に取り組み、笑顔がたくさん溢れた体育大会となりました。そこでは、笑いや感動、悔しさや感動の涙を見ることができました。同じクラスの友達同士のつながりだけでなく、上級生と下級生の絆を深める場面も見られ、学年、クラス関係なく精一杯応援する姿、拍手で互いを称え合う気持ちのいい姿を多く見せてくれました。

スローガンにあるように、生徒たちは互いに認め合い、高め合い、誰もが輝き、「楽しかった」と思える体育大会を創り上げてくれ、最後は充実感とともに、すがすがしい空気が流れていきました。

現在、すぐーるアンケートのお願いをしています。ご家庭でのエピソードや感想などお寄せください。次号の学校だよりで紹介していきたいと思います。ご協力お願いします。

長時間スマホの弊害

中学進学に伴い、スマートフォンを持たせたというご家庭もあるかもしれません。

ある新聞の記事に、「スマートフォンやタブレット端末を長時間使用する子どもは、家庭学習をいくら頑張っても学力が伸び悩む」という内容の記事が掲載されました。少し紹介します。

東北大学の研究で、仙台市の市内公立小中学校の全児童・生徒の学力や生活習慣に関するデータでは、「スマートフォン・タブレットの使用時間が一日一時間未満の子どもたちの学力は、家庭学習を全くしないグループでも全体の平均に届いていたのに、使用時間が一日以上以上の子どもたちは家庭学習を全くしないグループでは平均に届かず、一日1～2時間しているグループでようやく平均に届いたそうです。毎日1～2時間以上勉強しても、スマートフォン・タブレットを長時間使用すると学習効果がうまく表れない」という結果だったそうです。

また対象者のその後も確認したところ、「長時間使用を続けた子どもたちは学力が低い状態を維持していたほか、途中で長時間使用を始めた子どもたちも翌年から極端に学力が低下した。逆に長時間使用していた子どもたちが途中で使用時間を短くしたところ、翌年から学力が向上した」そうです。「スマートフォン・タブレットの長時間使用は学力の伸び悩みの直接的な原因になっている」とのことです。

スマートフォン・タブレットを長時間使用することと、家族の会話といった発達に必要なコミュニケーションの時間が短くなってしまうことも考えられるそうです。家族だんらんの時間は、スマートフォン・タブレットを使わず、子どもとの会話を大切にしたいものです。

現代社会は、スマートフォンなどのデバイスは、生活になくてはならないものになっています。しかし、このような研究結果からも、子どもたちの学びを考えた時、改めて、スマートフォンやタブレットの適切な使い方についてご家庭でも話し合うことが重要ではないでしょうか。